

日本通信株式会社

記者会見

2024年2月14日

本日の登壇者

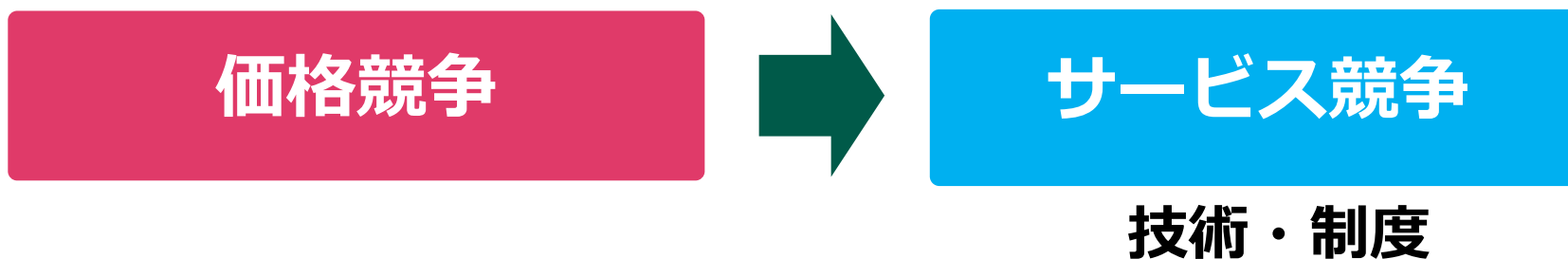
代表取締役会長 三田 聖二

代表取締役社長 福田 尚久

**日本通信株式会社は、2024年2月13日
株式会社NTTドコモとの間で
ドコモの音声通信網及びSMS網との
相互接続に関して合意しました。**

本来のMVNO事業モデル

1996年5月24日、日本通信を設立。日本通信の事業モデルはのちにMVNOと命名される。

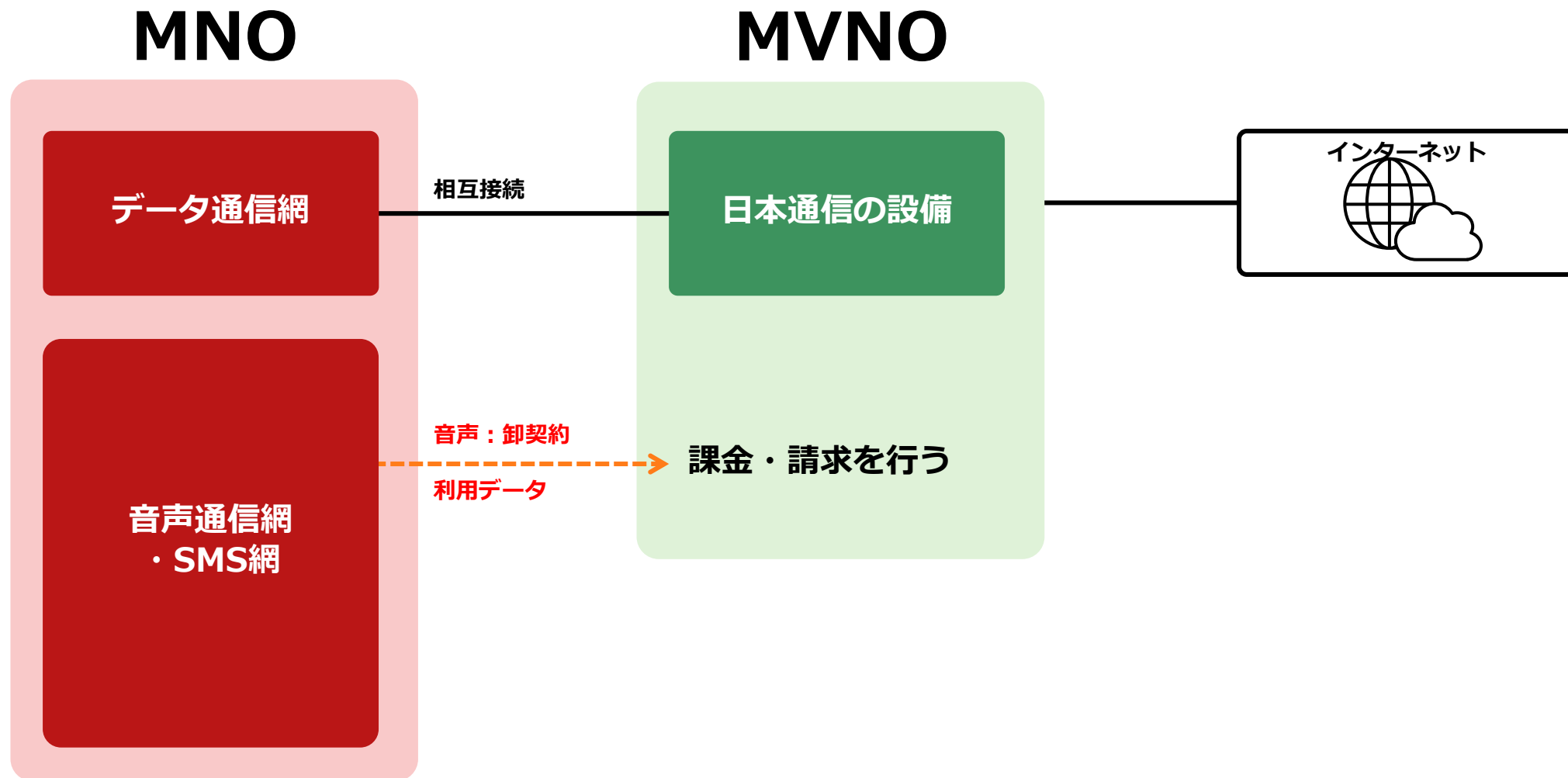


- ・ MNO*とMVNOが公正な競争環境に立脚する、つまりイコールフットイングにより、サービス競争が促進される環境を求めてきた。
- ・ 本件相互接続に関する合意により、従来の価格競争からサービス競争へ転換し、顧客サービスの多様化が進展する。

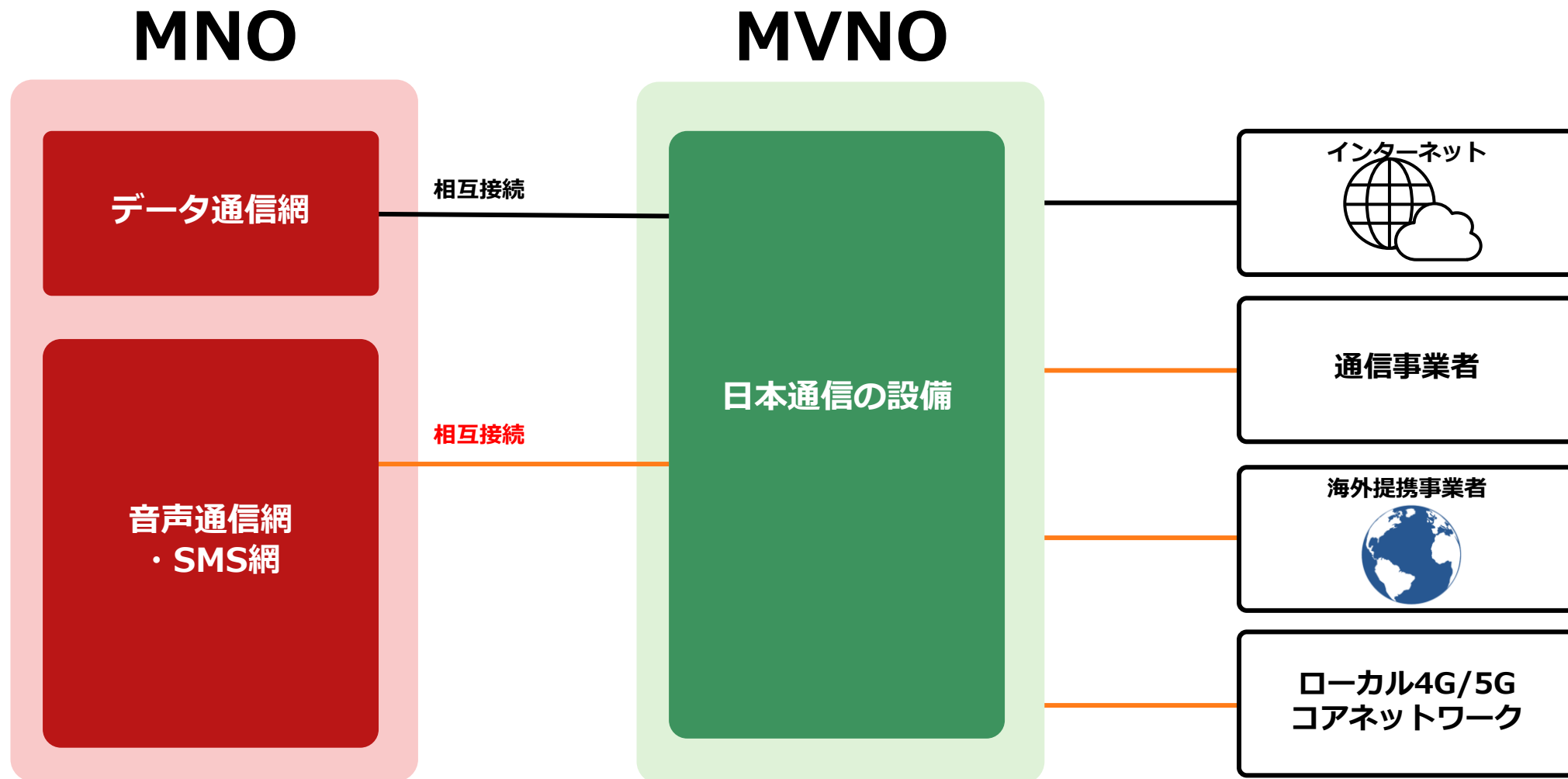
経緯

- 2014年7月18日** **NTTドコモに音声網の相互接続を申し入れ**
開示資料「日本通信、NTTドコモに音声網の相互接続を申し入れ
「格安スマホの将来を創る」」
- 2021年12月8日** **MVNOに携帯電話番号（090等）を付与する方針**
総務省情報通信審議会 答申「「デジタル社会における多様な電気
通信番号制度の在り方」
- 2022年6月10日** **NTTドコモに音声網の相互接続を申し入れ**
開示資料「日本通信、世界初の「ネオキャリア」を目指してドコモ
に音声網の相互接続を申し入れ MVNOを生み出した日本通信が、
さらに新たな事業モデル構築へ」
- 2023年2月22日** **総務省令による電気通信番号計画改定**
電気通信番号計画の一部を変更する件 他
- 2024年2月13日** **NTTドコモから接続申込承諾書を受領**

今日の仕組み



新たな仕組み



提供可能となる機能

海外ローミング

ローカル4G/
5G（全国網との
ハイブリッド）

より自由な
プライシング
（着信料）

グローバルIoT
（世界中どこで
もつながる）

マルチキャリア

電話リレー
サービス
（2020年に制度化、
2021年7月1日開始）

APN設定の
自動化

SIMによる
WiFi認証

他

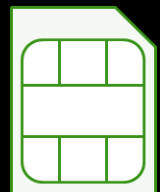
コアとなる認証基盤

海外ローミング

より自由な
プライシング
(着信料)

マルチキャリア

携帯電話番号 (090等)
IMSI* (15桁の識別番号)



SIM

eSIMへの
アクセス



認証識別
番号

認証媒体

認証
コアシステム

ローカル4G/
5G (全国網との
ハイブリッド)

グローバルIoT
(世界中どこで
もつながる)

電話リレー
サービス
(2020年に制度化、
2021年7月1日開始)

APN設定の
自動化

SIMによる
WiFi認証

他

*IMSI: イムズイ、International Mobile Subscriber Identityの略。
国際的な加入者識別番号。

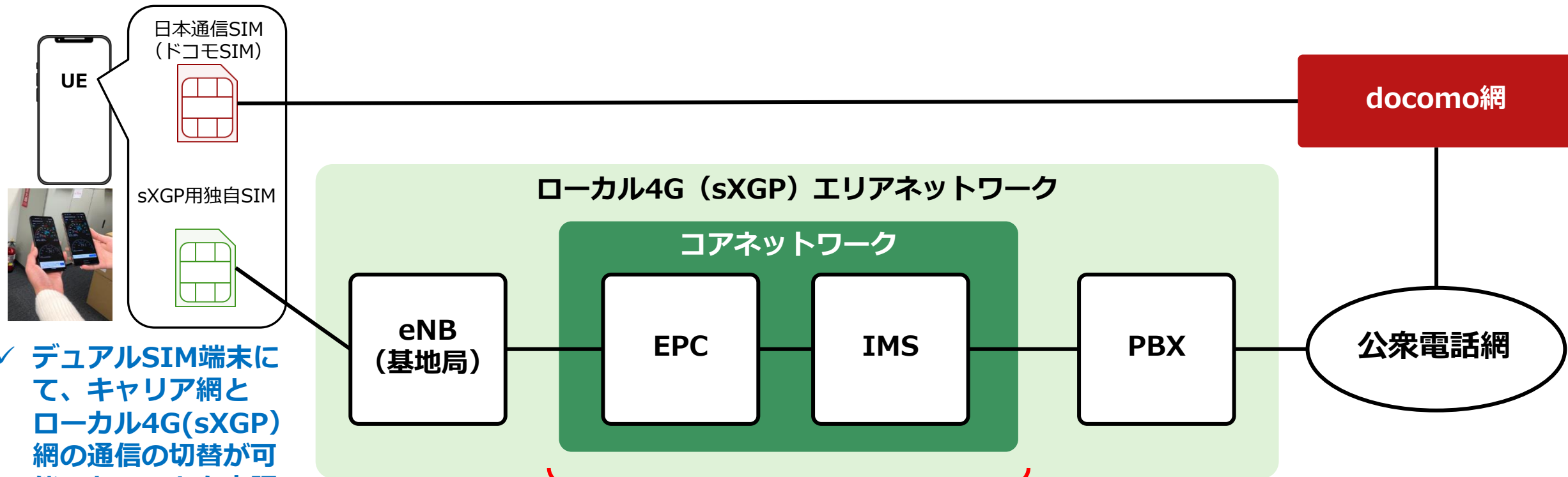
ネオキャリア誕生

2026年5月24日 (予定)

Q & A

Appendix

ミニチュア版を構築



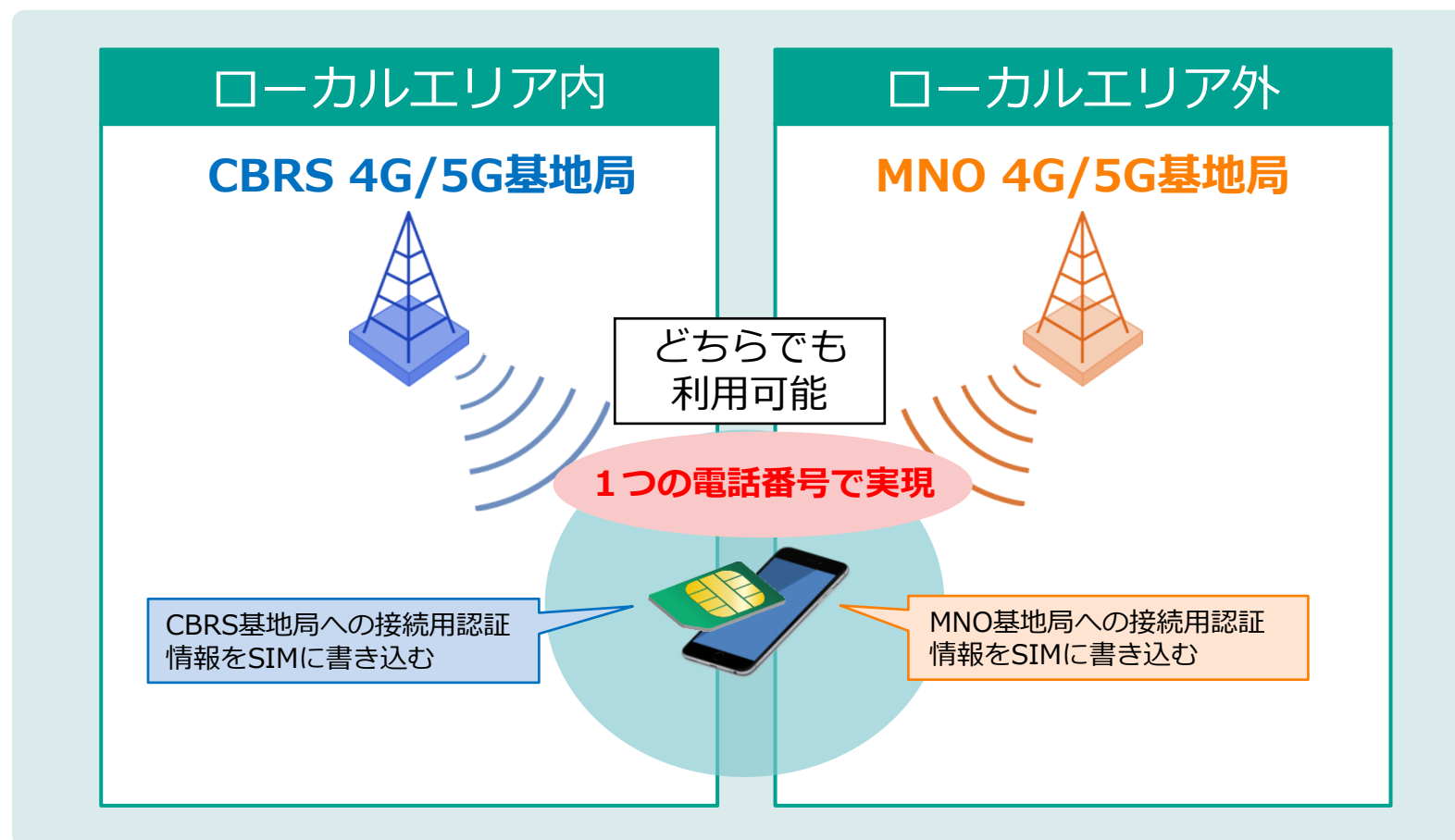
✓ デュアルSIM端末にて、キャリア網とローカル4G(sXGP)網の通信の切替が可能であることを実証済み。

✓ ローカル4G(sXGP)網での通信に関して、VoLTEによる音声通信が可能であることを実証済み。

- ✓ **EPC (Evolved Packet Core)** : HSS (Home Subscriber Server) を含む、回線管理の認証・契約管理等に必要な機能を具備するコアネットワーク機能
- ✓ **IMS (IP Multimedia Subsystem)** : 音声通信を含むIPベースの通信に対するセッション管理や、独自サービスのロジック実行などの機能を司るコアネットワーク機能

独自SIM

2020年6月26日 米国にてハイブリッドSIMの販売を開始
2023年12月15日 米国ユタ州と教育及び遠隔医療ネットワークへの導入をユタ州全体で実現するための契約締結を発表





日本通信のミッション

We transfer data
safely, securely, and conveniently.

安全・安心・便利にデータを運ぶ